

2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2026年1月29日

神戸電鉄株式会社

(東証プライム市場 9046 <https://www.shintetsu.co.jp/>)

目 次

I. 2026年3月期 第3四半期 決算概要	P. 1
1. 2026年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト	P. 2
2. 連結業績 セグメント別	P. 3
3. 2026年3月期 第3四半期末 連結貸借対照表	P. 9
II. 2026年3月期 業績予想	P. 10
1. 2026年3月期 連結(通期)業績予想	P. 11
2. 連結業績予想 セグメント別	P. 12

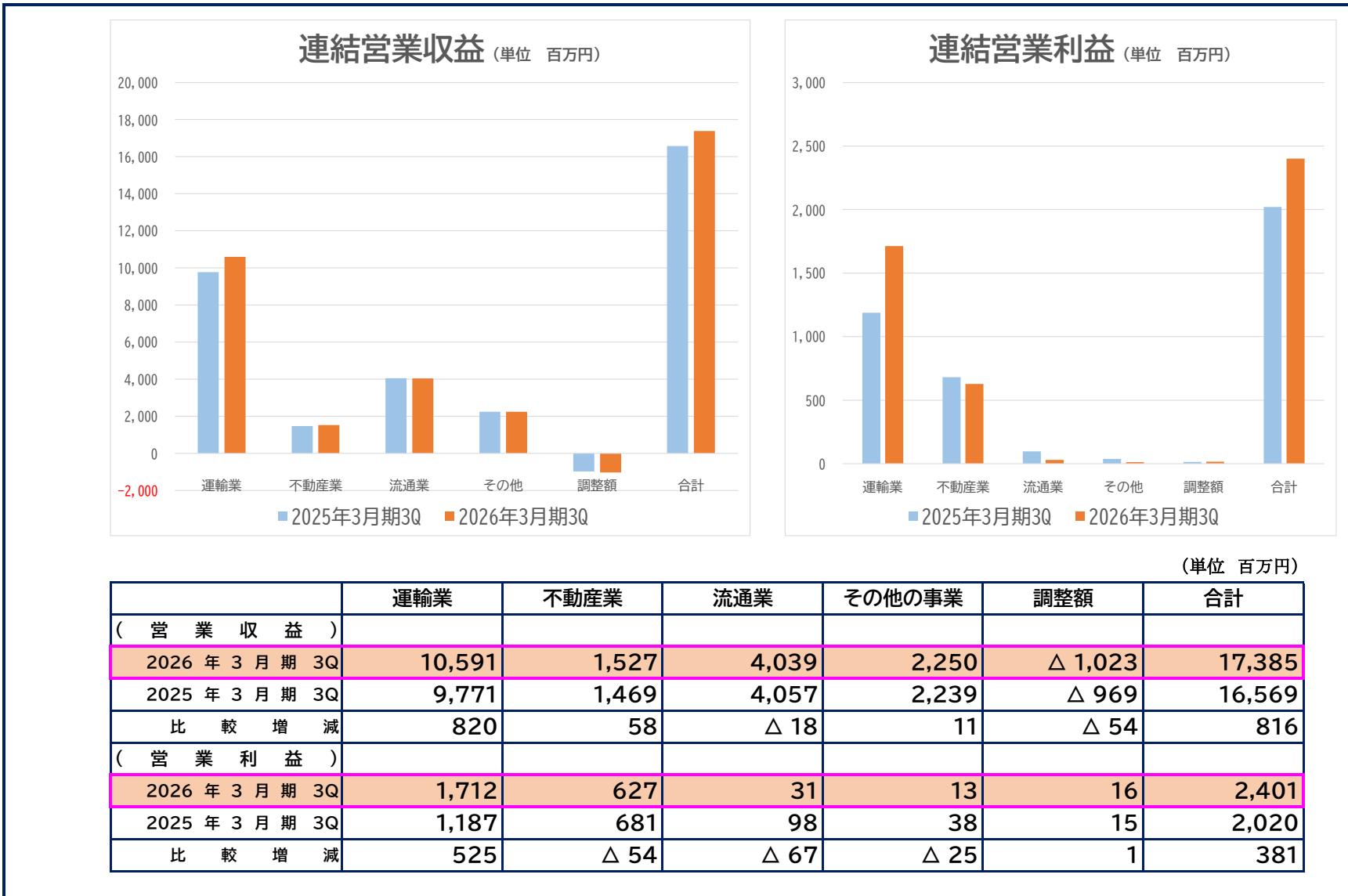
I. 2026年3月期 第3四半期 決算概要

1. 2026年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト

(単位 百万円)

	2026年3月期 3Q実績 (A)	2025年3月期 3Q実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	17,385	16,569	816	4.9
営業利益	2,401	2,020	381	18.9
営業外収益	137	172	△ 35	△ 20.3
営業外費用	546	477	69	14.5
経常利益	1,993	1,715	278	16.2
特別利益	368	541	△ 173	△ 32.0
特別損失	368	541	△ 173	△ 32.0
税金等調整前四半期純利益	1,993	1,715	278	16.2
法人税等合計	615	485	130	26.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,377	1,230	147	12.0

2. 連結業績 セグメント別



セグメント情報(運輸業)

(単位 百万円)

		2026年3月期 3Q実績 (A)	2025年3月期 3Q実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益		10,591	9,771	820	8.4
内訳	鉄道事業	7,503	6,882	621	9.0
	バス事業	1,318	1,297	21	1.6
	タクシー業	1,769	1,592	177	11.1
営業利益		1,712	1,187	525	44.2
内訳	鉄道事業	1,441	958	483	50.4
	バス事業	183	151	32	21.2
	タクシー業	87	76	11	14.5

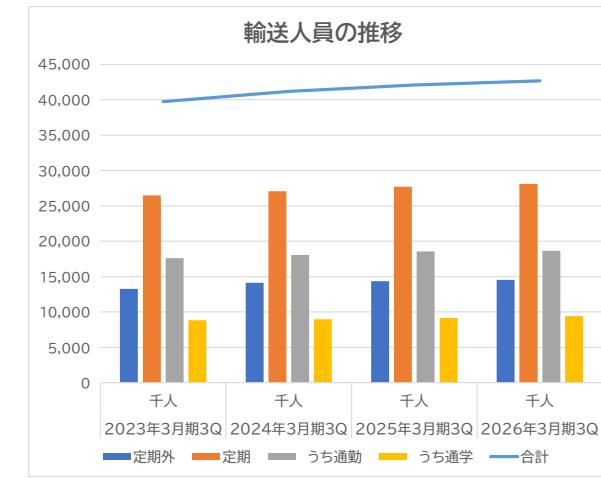
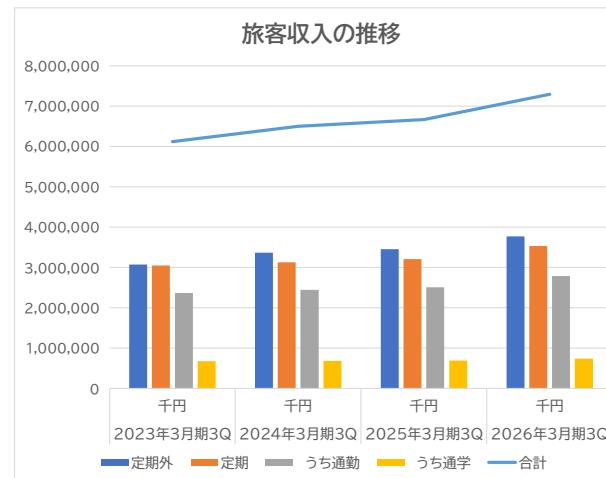
鉄道事業は、2025年1月に実施した運賃改定が寄与し、増収・増益となりました。

バス事業は、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収・増益となりました。

タクシー業は、大阪地域における大阪・関西万博の開催による需要増加に加えて、地域コミュニティ交通の本格運行を開始するなど、収益の拡大に努めました。また、2025年11月にタクシー運賃の改定を実施しました。

(運輸業) 鉄道事業 旅客収入及び輸送人員

	旅客収入				輸送人員			
	2026年3月期 3Q実績 千円	2025年3月期 3Q実績 千円	比較増減 千円	増減率 %	2026年3月期 3Q実績 千人	2025年3月期 3Q実績 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	3,766,601	3,456,140	310,461	9.0	14,541	14,380	161	1.1
定期	3,528,549	3,206,017	322,532	10.1	28,109	27,707	402	1.5
うち 通勤	2,784,532	2,513,029	271,503	10.8	18,677	18,548	129	0.7
うち 通学	744,017	692,988	51,029	7.4	9,432	9,158	274	3.0
合 計	7,295,151	6,662,158	632,993	9.5	42,651	42,087	564	1.3



セグメント情報(不動産業)

(単位 百万円)

	2026年3月期 3Q実績 (A)	2025年3月期 3Q実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	1,527	1,469	58	3.9
営業利益	627	681	△ 54	△ 7.9

土地建物賃貸業は、2025年4月に大阪府摂津市、2025年9月に東京都葛飾区において取得した新規物件が収益に寄与いたしました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めるとともに、2025年4月より新たに神戸市道路公社から「箕谷駐車場(神戸市北区)」の管理運営業務を受託しております。

以上の結果、営業収益は増収となりましたが、営業利益は、新規物件の取得に伴う一時的な費用の支出等により、減益となりました。

セグメント情報(流通業)

(単位 百万円)

		2026年3月期 3Q実績 (A)	2025年3月期 3Q実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益		4,039	4,057	△ 18	△ 0.4
内訳	食品スーパー業	2,954	2,988	△ 34	△ 1.1
	コンビニ業・飲食業他	1,084	1,069	15	1.4
営業利益		31	98	△ 67	△ 68.4
内訳	食品スーパー業	2	45	△ 43	△ 95.6
	コンビニ業・飲食業他	29	53	△ 24	△ 45.3

食品スーパー業は、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するとともに、ご当地フェア等の集客策を実施するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、移動スーパー「とくしま」については、2025年11月より新たに6号車の運行を開始し、引き続き顧客開拓を精力的に行うなど、増収に努めました。

コンビニ業は各店舗で販売促進策を実施するとともに、飲食業はケンタッキーフライドチキン武庫之荘駅前店(兵庫県尼崎市)のリニューアルを実施するなど、増収に努めました。

以上の結果、営業収益はほぼ前年並みとなりましたが、営業利益は人件費の増加や原価率の上昇等により、減益となりました。

セグメント情報(その他)

(単位 百万円)

	2026年3月期 3Q実績 (A)	2025年3月期 3Q実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
営業収益	2,250	2,239	11	0.5
営業利益	13	38	△ 25	△ 65.8

保育事業及び健康事業は、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。

しかしながら、神戸市東灘区のスイミングスクール(健康事業)の施設改修調査等に伴う休業の影響を受けたことから※、その他の事業全体では、営業収益はほぼ前年並みとなったものの、営業利益は減益となりました。

※同スクールは2025年12月に閉館しました。

3. 2026年3月期 第3四半期末 連結貸借対照表

(単位 百万円)

	2026年3月期 当四半期末	2025年3月期 前 期 末	増減額	主な増減内容
流 動 資 産	5,150	5,163	△ 13	
固 定 資 産	85,263	85,516	△ 253	有形固定資産 △552 他
資 産 合 計	90,413	90,680	△ 267	
負 債 合 計	65,507	67,141	△ 1,634	買掛金 △1,884 借入金 △175 他
純 資 産 合 計	24,906	23,539	1,367	利益剰余金 +1,219 他 (四半期純利益 1,377 配当金 △158) ※自己資本比率 27.5%(対前期末 +1.5%)
負債純資産合計	90,413	90,680	△ 267	

II. 2026年3月期 業績予想

1. 2026年3月期 連結(通期)業績予想

(単位 百万円)

[参考]

	今回 (A)	前回 (2025.5.13公表) (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)	主な増減内容	2025年3月期 実績
営業収益	22,990	22,770	220	1.0	運輸業の増収 他	22,131
営業利益	2,250	2,230	20	0.9	〃 増益 他	2,006
経常利益	1,650	1,590	60	3.8	支払利息の減 他	1,589
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,410	1,110	300	27.0	固定資産の売却益(見込み)	1,150

2. 連結業績予想 セグメント別

		今回 (A)	前回 (2025.5.13公表) (B)	増減額 (A - B)	[参考] 2025年3月期 実績
運輸業	営業収益	13,985	13,661	324	13,040
	営業利益	1,469	1,379	90	918
不動産業	営業収益	2,041	2,099	△ 58	1,967
	営業利益	770	841	△ 71	910
流通業	営業収益	5,299	5,361	△ 62	5,347
	営業利益	25	52	△ 27	103
その他の事業	営業収益	2,960	2,933	27	3,212
	営業利益	△ 7	△ 55	48	59

(注) 上記のセグメントの合計値は、セグメント間取引消去があるため、連結業績予想の「営業収益」及び「営業利益」に一致しません。

(対前回公表値からの増減要因)

- ・【運輸業】 大阪・関西万博開催に伴う行楽需要等による効果や、2025年1月に実施した鉄道事業の運賃改定の寄与等により業績が堅調に推移したこと等により増収・増益。
- ・【不動産業】 土地販売収入の減等により減収。新規物件の取得に伴う一時的な費用の支出等により減益。
- ・【流通業】 食品スーパー業において、節約志向に加え競合店出店の影響や、人件費増等により減収・減益。
- ・【その他の事業】 旅行業が堅調に推移したこと等により、増収・増益。